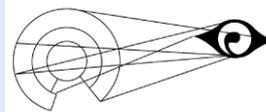


# 総会・所長研修会



平成29年4月21日（金）、北海道立教育研究所において、平成29年度北海道教育研究所連盟総会及び所長研修会を開催しました。

総会では、平成28年度の事業等についての報告及び平成29年度の事業計画等の説明が行われ、全ての議案が承認されました。

また、総会に引き続いて行われた所長研修会では、北海道PTA連合会顧問の笹谷純代氏の講演と、「学校や教員への支援の在り方及び所員の力量向上に向けた取組の工夫」について協議を行いました。



総会の様子

## 講演

演題 「これからの学校・教員に期待すること  
～保護者の立場から～」  
講師 北海道PTA連合会顧問 笹谷 純代氏



笹谷氏による講演の様子

### ■ PTA活動から感じる事、見えること

- これまでのPTA活動を通して感じてきたことは、子供たちの学力、体力、生活習慣、いじめの問題等は、私たち大人の問題であり、私たち大人が、他人事ではなく自分のこととして考えることが大切だということである。
- PTAは学校の一番の応援団である。
- 学校や先生方には、子供たちが社会で自立できるように社会生活におけるコミュニケーション力、自己肯定感、基本的な学力・教養を身に付けさせていただきたい。
- 子供は、傷付いたり、傷付けたり様々な体験をしながら成長する。そのため、普段から、教師と保護者が情報を共有したり、親子で話す機会をもったりすることが大切である。
- 核家族化やネット社会等、現代社会の様々な状況の中、一人で苦しみながら子育てをしている母親がいる。先生方には子育てのよき理解者として、保護者の相談にのっていただきたい。
- これからの学校に期待することは、地域の拠点となり、地域で子供たちを育てるという視点を大切にさせていただきたいということである。私の地元は、PTA活動が盛んで、学校行事にも多くの地域の方が参加し、学校を中心に地域の大人がつながっている。そのためには、学校からの情報発信が大切である。
- 子供たちのために目をかけ、手をかけ、心をかけ、言葉をかけ、子供たちが憧れる大人の姿を学校・家庭・地域みんなで見せていきたい。

## 情報交流

### 学校や教員への支援の在り方について

- 若手教員が多いため、モデルとなる授業を知らないことに課題がある。このような実態から研究所として学校を支援するために、授業づくりに視点をおき、モデルとなる授業を見ることが出来る取組を進めている。
- キャリア教育や道徳教育に関する資料を作成している。写真集、フラッシュカードなどをDVDにまとめ、各学校に配付するなど、授業で活用できるという視点での資料づくりを工夫している。
- 学校からの要望に応じて、テレビ会議システムと市独自の情報通信ネットワーク（ミーティングシステム）を活用し、双方向による遠隔学習の取組を進めている。

### ■ 所員の力量向上について

- 一昨年までは、研究部と事業部に分かれて研修を行っていたが、前年度から所員研修前半に全体会を行い、前回までの研修の成果や課題を交流している。研究部・事業部の意思疎通が図られ、所員の自覚が高まってきている。
- 各町村研究所と合同で所員研修会を行い、それぞれの町村研究所の抱える課題を共有したり、解決の具体的な方策を話し合ったりしている。
- 所員が代表で道研連夏季所員研修会、全教連研究発表大会や道内・道外視察研修に参加している。情報や成果を管内に還元してもらえるよう、研究発表などを行っている。